

米空母艦載機による銃弾落下事故に係る今後の安全対策について（要請）

平成16年7月19日、横浜市泉区において発生した米空母艦載機のヘリコプターH-60からの銃弾落下事故については、いまだ2発の銃弾が見つからない状況であり、周辺住民は残された銃弾による危険性などに不安を抱いています。

しかし、平成16年7月27日、米軍から、残り2発の銃弾の発見の努力は継続するが、大規模な捜索活動はやめることとしたい、との連絡がありました。

こうしたことから、当協議会では、事故現場周辺の住民の安全を確保し、不安を解消するために、次のことについて（米軍に申し入れるよう）強く要請します。

（ ）内は日本側への要請に挿入します。

- 1 引き続き全力をあげて銃弾の発見に努めること。
- 2 早急に周辺住民に対し、その安全確保のための広報をすること。
- 3 事故原因を早急に解明し公表するとともに、具体的な再発防止策を講ずること。

平成16年7月29日

在日米海軍司令官	フレデリック・R・ルイ少将	}	殿
在日米海軍厚木航空施設司令官	リード・A・エクストロム大佐		
外務大臣	川口順子		
防衛施設庁長官	山中昭栄		

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会長	神奈川県知事	松沢	成文
副会長	横浜市長	中田	宏
副会長	横須賀市長	沢田	秀男
副会長	相模原市長	小川	勇夫
	藤沢市長	山本	捷雄
	逗子市長	長島	一由
	大和市長	土屋	侯保
	海老名市長	内野	優
	座間市長	星野	勝司
	綾瀬市長	笠間城治郎	